

令和2年10月27日

横手市議会議長 播磨 博一 様

出席議員代表

総務文教常任委員 青山 豊

## 『市民と議会の懇談会』 報告書

「市民と議会の懇談会」の実施状況を下記のとおり報告いたします。

1. 開催日時	令和2年10月24日（土）
2. 開催場所	ベッチモント yokote 3階会議室
3. 出席議員	播磨博一議長、高橋聖悟副議長 総務文教常任委員 青山 豊、菅原亀代嗣、佐々木喜一、佐藤清春、小野正伸、 大日向香輝 ※奥山委員は主催者側として出席
4. 申請団体	一般社団法人横手青年会議所
5. 参加人数	31人（うち議員8名、議会事務局職員2名）
6. テーマ	地域防災について考えよう
7. 懇談会の内容	司会：一般社団法人横手青年会議所 ①主催者あいさつ（横手青年会議所理事長 津村侑弥氏） ②議長あいさつ ③講演「横手市の防災対策について」（横手市危機管理監 鎌田氏） ④市民と議会の懇談会 ・「防災クロスロード」簡易体験（横手市危機管理課長 長瀬氏） ・グループディスカッション ⑤各グループの話し合い内容の発表 ⑥謝辞（横手青年会議所副理事長 鈴木 武氏） 閉会

## 8. 意見交換の主な内容

### ■経過説明

横手青年会議所「横手の希望創造委員会」の委員長である奥山豊和議員より開催について打診があり、広報広聴委員会広聴分科会にて協議したうえで総務文教常任委員が対応することとなった。

### ■主な意見

#### 【地域防災について考えよう】

(第一部 講演会「横手市の防災対策について」)

・別紙資料参照

(第二部 市民と議会の懇談会)

#### ①「防災クロスロード」簡易体験

・実例をもとに、災害時の対応についての行動について参加者が YES/NO を判断し、その判断理由についてグループ間で情報共有するもの。

#### ②グループディスカッション

「防災クロスロード」を踏まえたグループディスカッションを行った。

Q1では「食料が200人分しかない避難所に300人の避難者が来た場合、食料を配布すべきか」、Q2では「危険箇所指定された地域(ただし、過去に被災したことはない地域)に住んでいると仮定し、避難情報が出されたらすぐに自主避難するか」、Q3では「レベル4の避難情報が出された際に、隣に住む独居老人にも避難の声かけをするか」について、それぞれの意見を出し合ってグループワークを行った。

なお、Q1では「避難者の公平性と優先度」および「避難所の運営の在り方」について、Q2では「自発的な避難」について、Q3では「公助の限界」や「行政でもすぐには対処できない現状」をポイントとして話し合った。

また、その内容について各グループで発表し、参加者全員の情報共有を図った。

### ■総括

総務文教常任委員会のテーマの一つでもある「防災」について、地域のけん引役としても実行力を持つ横手青年会議所メンバーと意見交換ができたことは大変意義があった。

また、そういったメンバーに対して、公助のみに頼っては住民の安全を守ることができないという事実を認識してもらい、さらに、自助・共助についての意識の啓発に必要性があるという危機管理上の課題を周知できる機会を創出できたことで、市だけではできない防災についての課題に対し、行政と民間の相互の長所や利点を生かして解決の糸口を見出すための期待が持てる会となった。

今後、意見交換にて出された意見を委員間で討議しさらに議論を深め、地域の安心・安全に向けた政策を市に提言していけるようにつなげていきたい。







# お席のご案内

